

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	19	-	事業名	防犯事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	2	地域の防犯力を高める		
		施策の進め方	1	地域防犯力の向上		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者及び市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進する。 ②地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行い、地域防犯を推進する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、自主防犯団体、自治会等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め犯罪のないまちを目指す。				
	事業を構成する事務事業	① 防犯対策事業	継続	④		
	② 自主防犯活動支援事業	継続	⑤			
	③ 防犯啓発事業	改善・見直し	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算				4,485
			決算				4,632
	人件費(B)	700	決算				4,582
	総コスト(A)+(B)	700	決算				9,214

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 刑法犯認知件数	件	目標	-	950	816	790	
			実績	962	885	900	648	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市内で発生した刑法犯の認知件数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県内では、高齢者が被害に遭う特殊詐欺が多発している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 刑法犯が約3割減少し、刑法犯認知件数が設定した目標数を下回った。
	事務事業全体を見た課題	総数では減少傾向であるが、犯罪種別でみると住宅対象侵入盗が増加した小学校区もあり、引き続き犯罪発生状況に応じた啓発活動を実施していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) より多くの市民に周知できるような啓発方法を模索していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防犯事業									
-----	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

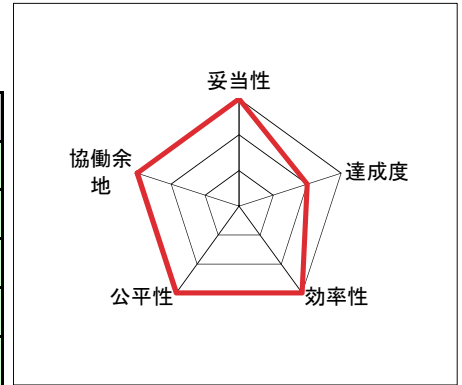
番号	①	事務事業名	防犯対策事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 防犯協会の運営、愛知地区防犯協会連合会への助成を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め、犯罪の少ないまちを目指す。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,280
		決算				1,374

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
助成額	千円	目標	700	700	700	700	
		実績	700	700	700	700	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
今後も防犯意識向上の啓発のため、継続して助成を行う。

4. 事務事業を取 刑法犯認知件数

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 防犯事業

番号	②	事務事業名	自主防犯活動支援事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自主防犯ボランティア団体を支援することにより、防犯活動を活発にし犯罪のないまちを目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,634
		決算				2,573

3. 活動推移

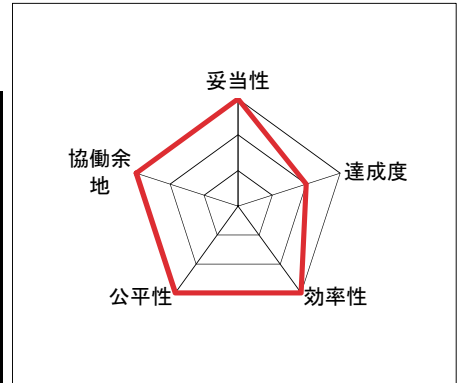
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
自主防犯ボランティア団体数	団体数	目標	—	23	26	27	
		実績	—	25	26	26	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
------------------------

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

今後は、自主防犯ボランティアの意見交換の場を設けることや防犯ボランティアリーダーを担う人材の育成などを実施していきたい。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防犯事業									
-----	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	防犯啓発事業								
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者、市民を対象とした防犯教室を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め犯罪のないまちを目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				571
		決算				685

3. 活動推移

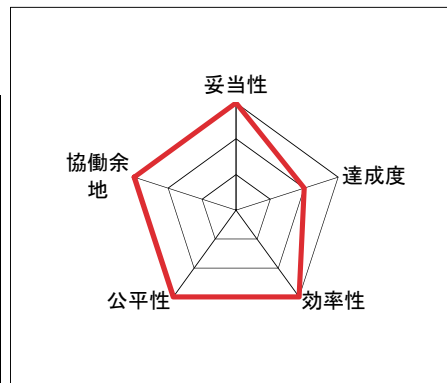
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
防犯講習会回数	回	目標			13	14	
		実績			14	18	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
------------------------

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し
--------

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  講習会メニューの充実や実施していない自治会等に対しての啓発方法の検討が必要である。
---